

「出題の意図」

選抜区分 2025年度（選抜区分：一般前期 2日目）
工学部（科目名：英語）

出題の意図 「出題の意図」
（評価のポイント）

問題1【発音問題】

一般教養の範疇で汎用性が極めて高い英単語を正確に理解できているかを問う。
出題パターンが幾つか用意されており、受験生は大学受験に必須である単語の強勢の位置、母音や子音の識別等について基本的な知識を有しているかどうか示さなければならない。

問題2【文法問題】

時事問題等を踏まえ、八品詞各々の働きや時制、態、法にまつわる動詞の用法、各種構文など、幅広く英文法の基礎的な学力を問う選択方式の問題である。
短い英文の要旨を的確に判断し、前後の文脈から正解を選択する必要がある。

問題3【英会話・コミュニケーション能力・英作文】

現代社会の状況や様々な課題について、主に本学で学ぶ大学生2人が日常会話を交わしているという設定の文章を読み、各小問に答える。受験生は、単に会話内容を掌握するするに留まらず、topicの発展性や流れを読み取るコミュニケーション能力、英語による発信力を有しているかどうかについて評価される。
問1では、文章の骨格をなす内容についてきちんと読み取れているか、要約したり、会話の空所を適切に穴埋めできるか否かによって試される。問2では問題文の会話の趣旨を十分に理解できているか、空所補充や概要を捉える複数選択肢の中から正解できるかどうかにより判断される。問3は英作文力を問うと同時に、上記のやり取りを読んで受験生自身が①論題についてどう考えるか、②どのように自らの意見を主張出来るか、会話内容をきちんと押さえた上で独自の考察を述べる事が期待される。

問題4【整序問題】

バラバラに並んだ単語を、文法や文脈に沿って正しい順番に並べ替える問題。
文法、語法、熟語、読解力、論理的思考力を総合的に問う。基本的な文型や接続詞、準動詞の決まりを理解していないと、一見英文らしく見えても誤答となりがちな、やや難易度の高い組み合わせ問題である。

問題5【長文読解問題】

単語力、文法力、作文力の総合的な習熟度を問う大問である。文章全体の流れと要点を掴むためには英語の語順のまま理解できる速読の能力が必要となる。
問1 下線部和訳。ここはトピックセンテンスとして全体を要約する一文であることが多い。普段からそれを意識して長文読解の訓練をしておくといよい。
問2 本文の内容に関して読解のヒントとなる文を和訳することが肝要。
問3 長文の概要となるキーワードについて、指定語数内の日本語で要約する問題。要旨を正確に理解し、文章の流れを把握していくためには速読しつつ文章の重要なポイントとkeywordを正しく把握できていなければならない。
問4 正誤問題であるが、長文の意味を理解していないと間違った選択をする可能性が高い。しかしこの設問は良く読んで正解を得られれば、本文中の難単語や連語を別の言い回しに置き換えている、論理的にあり得ない結論により本文の主旨が一層はっきり理解できる、といったように、長文読解の為のヒントが含まれているキーワード・センテンスとなっている。